

腫瘍内科

研修の概要

がんは日本人の半分が罹患する疾患であり死因の一位となっています。腫瘍内科は、消化器癌（大腸癌、胃癌、食道癌、膵癌、胆道癌など）の最新の薬物療法を主に担当しています。がん薬物療法だけでなく、担当するがん診療全般における、がん患者さんへのナビゲーターの役割についても学ぶことができます。

習得できる知識や手技

- ・消化器癌に対する最新の薬物療法（細胞障害性抗がん薬、免疫チェックポイント阻害薬、分子標的薬など）や免疫関連有害事象（irAE）を含む毒性のマネジメント、放射線治療の管理、医療用麻薬（オピオイド）などの使い方、癌患者の栄養管理、緩和ケアについて学ぶことができる。
- ・最新の悪性腫瘍の診療において必須の知識となっている、「がん遺伝子パネル検査」に参画し、現状や検査の実施方法について理解し、説明できるよう学ぶことができる。
- ・神経内分泌腫瘍、原発不明癌、軟部肉腫などの希少癌の診断、治療に関わることができる。
- ・新規薬物療法や、治験治療、臨床試験について実践的に体験し、学ぶことができる。

週間スケジュール

| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|-------|---|----------------------------------|---|
| 病棟/外来 13:00-病棟カンファ、 14:00-新患カンファ、 回診 16:00-がん遺伝子パネル検査エキスパートパネル (隔週) 肺癌カンサ ーボード、消化管カン サーボード | 病棟/外来 | 8:00-病棟カンファ 病棟/外来 (隔週) 食道癌カン サーボード | 病棟/外来 (隔週) 肝胆膵 カンサーボード | 8:00-病棟カンファ 病棟/外来 16:30-院内エキスパー トパネル |

HP アドレス

<https://www.med.oita-u.ac.jp/syuyou/index.html>

連絡先(担当者)

腫瘍内科 担当：西川 和男 nishikawak@oita-u.ac.jp